

令和４年度 都城市立縄瀬小学校 第【２】回学校運営協議会報告書

日 時	令和４年８月１日（月） １９時００分～２０時００分	
場 所	都城市立縄瀬小学校 校長室	
参 加 者	委 員	古川 辰昭（委員長） 迫間 輝昭 中島 学 池之上 俊江 古川 照子 大田 育子 犬童 健人
	事務局	蓑毛 隆洋（校長） 竹下 龍祐（教頭）
	その他	
会 次 第	1 校長あいさつ 2 委嘱状交付（３名：迫間さん、池之上さん、犬童さん） 3 説 明 ○ １学期の取組について ○ ２学期の行事について 4 委員研修会報告（古川委員長） 5 協議 （１）学校評価の流れ （２）委員の役割分担 6 意見交換 7 その他	
協議内容	○ １学期の取組や２学期の行事については、特に意見は出なかったが、１学期の児童の活動を、写真を見せながら説明したことで、笑顔で聞いてもらえた。児童が元気に活動していることが、何よりだということが分かった。 ○ 委員研修会報告では、古川委員長が、７月１日（金）の研修会の報告をしてもらった。古川さんには、資料をコピー、持参していただいた。強調されたことは、「学校運営協議会は、筋交（ナナメ）の関係が大切で、その役割を担うことが大切である」ということであった。これを全体で確認し、どのような取組をしていくべきかということこれから話し合うことになった。 ○ 委員の役割分担では、委員研修会報告での協議に加えて、さらに学校を活性化させるために、一人一人に役割を受けもっていただき、学校（児童）と地域を結びつける橋渡しになってほしいということを説明した。役割の例として、学習、安全、福祉、防災等を挙げた。委員の１人から、ここ最近、「班長をしたくない」とか「中学校を卒業したのでメリットがない」等の理由から、公民館から脱退する若い方がいる、という話が出た。この話題から、公民館の地区での役割や学校との関係、ＰＴＡ活動と地域との関係等の協議が続いた。様々な会合の場でこの問題をみんなで協議していくことが大切ではないだろうか、というところで収まった。まずは、地域の高齢者を学校に招いて、あるいは、地域の高齢者の元に児童が出向いて、交流を深められるように、この学校運営協議会で進めていくことにした。	
そ の 他	○ 今回の案内で、案内文書以外の情報のやり取りのために、学校連絡メール（sigfy）に登録することをお願いしたが、登録の仕方が複雑で、登録できない委員がいることが分かった。自宅に出向く等で対処したい。また、登録された委員には、学校のホームページを案内した。	